

日本国際法学生協会（JILSA）学生運営委員会 議事録

日付	時間	場所	記録者
2017/07/7	17:00～18:00	国立オリンピック記念青少年総合センター403号室	三和将大
<p>議題</p> <p>① 委員挨拶</p> <p>② 2018年度 Jessup 運営についての連絡</p> <p>③ 慶応義塾大学の脱退</p> <p>④ 大会統合による変更点について</p> <p>⑤ 本年度予算案報告</p>			
<p>出席者</p> <p>辻川 橋本 茂野 三和 前田 長縄 田中 大林</p> <p>京都大学・東洋大学・法政大学・立教大学・早稲田大学・上智大学・東北大学・(西南学院大学)・(東京大学)・(名古屋大学)・(同志社大学)・(北海道大学)・(海上保安大学校)・(学習院大学)・(大阪大学)</p>			

項目	決定事項
委員挨拶	役割確認。
2018年度 Jessup 運営について	2018年2月17(土)、18(日)に京都で開催。場所は未定。
慶応義塾大学の脱退	6月6日に、慶応義塾大学の構成校代表者からJILSAを脱退する旨の連絡あり。JILSA規則9条2項に従い、学生運営委員会の議決を採った。反対0票により、慶応義塾大学の脱退が決定。後日JILSA規則9条3項に従い、メーリングリストに本決定を送付する。
大会統合による変更点について	<p>先だって各構成校代表者に回答してもらったアンケートをもとに会議を進行。JILSAから提案した案に対する構成校の懸念を解消するべく説明し、議決を採った。</p> <p>① 弁論の統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語弁論を2つのトーナメントに分ける <p>→反対0票にて決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界大会に出場するチームの選抜は、その後の世

	<p>界大会への対応を考慮し、英語弁論トーナメントの上位から選出する →反対 0 票にて決定。</p> <p>②書面の統合 ・書面は英語による提出のみを認める（新規参入校にも例外を認めない） →反対 0 票にて決定。</p> <p>③ 1 大学から出場可能なチーム数 ・原則として、1 大学から複数チームの出場は認めず、例外的に、大学のカリキュラムや地理的な理由によってチーム間での協力が不可能、または、非常に困難である場合に限り複数チームの出場を認める →1 大学から絶対に 1 チームだけにすべき 3 票 →例外規定を採用する 4 票+8 票（JILSA 委任票）</p> <p>※日本語の大会に出場するチームが少なくなり、最悪の場合、大会が開催できないこともあるのではないかと懸念あり。</p> <p>④大会登録料 ・大会統合により、前年度と比べ参加費による収入が大幅に減少（70 万→30 万）するため、大会踏力量を 25000 円→35000 円に増額する →反対 0 票にて決定。</p> <p>⑤口頭弁論の時間の表示方法の変更について ・基本的に 5 分毎にタイムカードを表示するという世界大会と同様に方法を採用する →反対 0 票にて決定。</p>
本年度予算案報告	会計より今年度の予算の使い道について連絡。